

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	40	05	高津区市民提案型協働事業			
担 当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671650		まちづくり推進部企画課			齊藤	64121

事業の概要									
事業の概要		(1)市民の提案を基に、市民と協働で地域の課題を解決する。 (2)市民から事業提案を募集し、その提案の中で優れたものを選定し、その事業を提案者(市民)自らが区と協働して執行する。 (3)事業選定に当たっては、高津区市民提案型協働事業審査委員会による審査を行う。							
		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業			
実施期間		平成18年度		—					
地域の課題と現状		地域の課題が多様化する中で、すべての区民ニーズに行政がきめ細かに対応することは困難な状況にある。一方で、地域においては市民による公共的な活動が行われている。市民の生活者としての視点・発想を活かし、相互に連携・協力し、課題の解決やサービスを提供していくことが必要である。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	3,623	2,367	3,642	1,518	3,623	2,044		
	財源内訳	国庫支出金							
		市債							
		その他特財							
	一般財源	3,623	2,367	3,642	1,518	3,623	2,044		

計画 (Plan)	
事業の目的	市民の生活者としての視点・発想を活かし、相互に連携・協力し、地域課題の解決やサービス提供をしていく。
今年度の事業の取組内容	(1)令和7年度事業の選定にあたっては、公開プレゼンテーションを開催し、審査委員会の選考結果を基に、最終的に区長が決定する。 (2)令和6年度実施事業について、中間ヒアリングや報告会などを通して所管課とともに事業の執行管理を行う。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	(1)令和7年度事業の選定にあたっては、公開プレゼンテーションを開催し、審査委員会の選考結果を基に、最終的に区長が3事業を選定した。 (2)令和6年度実施事業を5事業実施し、中間ヒアリングや報告会などを通して所管課とともに事業の執行管理を行った。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標 公開プレゼンテーションの開催	目標	1	1	1		回	
			実績	2	2	1			
	2	活動指標 審査委員会の開催	目標	1	1	1	回		
			実績	2	2	1			
	3		目標						
			実績						
	4		目標						
			実績						

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		地域課題のすべてに行政が対応することは難しく、多様な主体との協働や連携した取組の重要性が増している。		
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載				
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域課題のすべてに行政が対応することは難しく、多様な主体との協働や連携した取組の重要性が増している。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	令和7年度実施事業にあたっては、多数の相談・応募があり(件数非公開)、審査委員会による選考を経て3事業が選定したため。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	次年度の事業をより効果的なものとするため、中間報告の体制を変更するなど内容や仕組みを改善する必要があるため。		

改善（Action）			
今後の事業の 方向性	方向性区分	方向性	実施結果（Do）や評価（Check）を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	来年度も事業提案を引き続き募集・選定するとともに、より効果的に実施していくための検討を行う。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業			
款	項	目	大	中	小	予算小事業名称			
58	05	25	26	40	05	高津区市民提案型協働事業 「社会人落語による地域活性化事業」			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課		中島	64814	

事業の概要									
事業の概要		社会人落語家によるアマチュア寄席を開催する。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域課題対応その他事業費	
		令和4年度		令和6年度					
地域の課題と現状		近年はコロナ禍で引きこもりがちになる方々(特に高齢者)が社会的な課題となっており、外出して社会交流のきっかけが必要である。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	249	80	243	52	195	51		
	財源内訳	国庫支出金							
	市債								
	その他特財								
	一般財源	249	80	243	52	195	51		

計画 (Plan)	
事業の目的	社会人落語家によるアマチュア寄席の開催を通じて、特に高齢者を中心とした全世代の方々を対象に笑いで活気溢れる場を提供し、地域の活性化に貢献する。
今年度の事業の取組内容	やかん寄席～特別編～の開催や、高津区役所が主催、共催などをするイベントへ参加する。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	・やかん寄席特別編の開催（駄菓子の木村屋、高津区役所、プラザ橘） 新規施設での開催について、近隣住民の参加も多く、気軽に参加できる場が提供できた。 ・たかつ区健康福祉まつりへの出展								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	やかん寄席～特別編～の開催	目標	2	3	3		回
				実績	2	3	3		
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		コロナ禍で娯楽に触れる機会が減ってしまう等、引きこもりがちになる方々(特に高齢者)にとっての外出のきっかけとして、またご近所で社会交流できる機会として、気軽に参加できる場の提供が求められている。		
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 6 年度 □ 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		地域包括ケアシステムについて、より効果的に広報を行うことができるよう企画内容の見直しを行った。		
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	落語や演芸という古典芸能の提供は、健康増進や活力維持のサポートといった点において有効である。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	開催したやかん寄席はいずれも多くの来場、視聴があり、計画書で目的としていた「外出して社会交流のきっかけとなる」「笑いによる健康面での効果」「文化的な体験」などの成果が得られた。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	提案団体等と協議を行い、役割分担の見直し等による改善を進めた。		

改善（Action）			
今後の事業の 方向性	方向性区分	方向性	実施結果（Do）や評価（Check）を踏まえた今後の方向性
	I．現状のまま継続 II．見直し・改善のうえ継続 III．事業終了	III	本事業は、3年目となるため令和6年度をもって事業終了となる。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小	高津区市民提案型協働事業 「『Scratch×Soccer』スポーツとプログラミングで子ども達の未来を育む事業」			
58	05	25	26	40	05				
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		まちづくり推進部地域振興課		大賀	64352	

事業の概要									
事業の概要		“将来のIT人材を生み出すことと、スポーツのまち川崎を代表するような体を動かすことが好きな子ども達で溢れる健やかなまちづくり”を目標に、高津区内の小学生を対象して、川崎フロンターレなど地域団体と連携し、スポーツ(運動)とIT(プログラミング)を掛け合わせたワークショップ(Scratch×Soccer)を開催する。							
実施期間		事業開始年度 令和4年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域課題対応その他事業費	
地域の課題と現状		スポーツ庁実施の「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」では、本市は全国平均と比べて低い傾向が続いており、またスポーツが好きと答えた割合も低い傾向にあり、まずはスポーツを気軽に楽しむことができる取組みが求められている。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	287	287	966	850	852	780		
	財源内訳	国庫支出金							
	市債								
	その他特財								
	一般財源	287	287	966	850	852	780		

計画 (Plan)	
事業の目的	ワークショップ(Scratch×Soccer)を開催することにより、スポーツ(運動)することの楽しさを体感させ、子ども達の健やかな成長につなげることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	区内小学校(6校程度)において、授業の一環としてワークショップを実施する。

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	区内小学校において、授業の一環としてワークショップを開催。 ・令和6年度は、令和5年度の4校（梶ヶ谷小・西梶ヶ谷小・下作延小・子母口小）に南原小が新たに追加 ・各小学校にて、それぞれ5年生及び6年生を対象とし、約500人が参加した									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	ワークショップの実施（参加者）	目標	90	500	500		人	
				実績	330	520	514			
	2	成果指標	ワークショップ実施校	目標	3	6	6		校	
				実績	3	4	5			
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
				実績						

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		学習の中で、プログラミング等を活用した新たな学びの手法やカリキュラムの更なる充実などのニーズがある		
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近)	年度	☐ 今後実施 (年度から)
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載				

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	学習の中でプログラミングを活用するなど、事業ニーズは高まっている	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	実施校は目標に達しなかったものの、参加する学校が増えるなど一定の効果があった	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	役割分担や各コンテンツ内容の見直しなどによる経費削減や事務改善の可能性はある。	

改善（Action）			
今後の事業の 方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	参加者の意見を基に、実施内容をブラッシュアップしつつ、高津区内の小学校にて同様の授業を開催することを目標とし、事業を継続することを目指していたが、事業終了となった。今後は、状況に応じて後援等により支援することも検討している。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
58	05	25	26	40	05	高津区市民提案型協働事業 「コトノハ～体験するミュージカルワークショップ～」		
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先
			671700		まちづくり推進部地域振興課		平井	64355

事業の概要											
事業の概要			参加者がミュージカルを体験することを通じ、地域の生活の中で、立ち話や寄り道をできるような関係性や交流性を構築し、地域との繋がりを醸成する。								
実施期間			事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域課題対応その他事業費		
			令和6年度		—						
地域の課題と現状			2022年の川崎市民アンケートの「地域とのつながりについて」の調査結果によると、高津区で「地域の繋がりはほとんどない」と回答した人は全体の66.7%と半数以上を占める。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度			R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額		決算額	予算額		決算額	予算額		決算額	
	事業費						297	297			
	財源内訳	国庫支出金									
		市債									
		その他特財									
		一般財源						297	297		

計画 (Plan)	
事業の目的	ミュージカルワークショップを開催することにより、参加者同士の年齢や肩書きの垣根を超えた繋がりを醸成することを目的とする。
今年度の事業の取組内容	大山街道ふるさと館のイベントホールにて、2日間のミュージカルのワークショップを行う。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	◎2024年10月19、20日に、『オズの魔法使い』を制作するワークショップを実施。2日目の最後に、家族や見学者に向けて発表した。制作物：A4チラシ4,500部作成/4,200部配布 A6チラシ600部作成/300部配布 ◎2025年3月2日に、大山街道ふるさと館 春のふるさと館まつりにて、ワークショップで作成したミュージカルナンバーの発表を行った。制作物：A3チラシ1,100部作成/800部配布								
数値で把握することが可能な取組	指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位	
	1	成果指標	ワークショップの参加者数	目標		15		人	
				実績		26			
	2	活動指標	ワークショップ開催日数	目標		2		日	
				実績		2			
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
				実績					

評価 (Check)

事業を取り巻く 社会環境の変化		地域での生活の中で、立ち話をしたり寄り道をして帰ったりできるような交流や関係性のきっかけ作りが求められている。		
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近)	☐ 年度	☐ 今後実施() 年度から)
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる 場合は記載				

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域での生活の中で、区民が年齢に関係なく交流することができるという点で、表現や芸術の分野での関心や事業ニーズは高まっている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	図書館や駅のポスターなど、公共施設にポスターやチラシを設置したことで、目標よりも多くの参加者の参加を促すことができた。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	役割分担や各コンテンツ内容の見直しなどによる経費削減や事務改善の可能性はある。	

改善（Action）			
今後の事業の 方向性	方向性区分	方向性	実施結果（Do）や評価（Check）を踏まえた今後の方向性
	Ⅰ．現状のまま継続 Ⅱ．見直し・改善のうえ継続 Ⅲ．事業終了	Ⅲ	広報や参加者への情報共有などのクオリティを向上させつつ、高津区内のホールにて同様のワークショップを開催することを目指し、事業を継続することを目指していたが、継続エントリーの申し込みがなかったため、事業終了となった。今後は状況に応じて後援等により支援することも検討している。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	40	05	高津区市民提案型協働事業 「笑って学ぼう！！みんな集まれ、笑タイム！」			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		まちづくり推進部企画課		鈴木	64121	

事業の概要										
事業の概要			高津区市民提案型協働事業「笑って学ぼう！！みんな集まれ、笑タイム！」を実施する。							
実施期間			事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域課題対応その他事業費		
			令和6年度		—					
地域の課題と現状			地元への愛着の低下や、区外への人口流出が課題である。また、区内に目立った「お笑い」の活動がない。							
予決算 (単位:千円)	年度		R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
			予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費						190	190		
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
		一般財源					190	190		

計画 (Plan)	
事業の目的	高津の魅力や歴史をネタに盛り込んだお笑いライブを開催し、高津を笑いが溢れるまちにするとともに、区民の地域への関心を高め、愛着を養うことを目的とする。
今年度の事業の取組内容	区内イベントにてお笑いライブを実施する。

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度			3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等			キラリデッキにおける「まるっとサステナフェスティバル」にてお笑いライブを実施した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	笑って学ぼう！！みんな集まれ、笑タイム！の開催			目標		1		回
						実績		1		
	2					目標				
						実績				
	3					目標				
						実績				
	4					目標				
						実績				

評価 (Check)									
事業を取り巻く社会環境の変化			市政100周年を迎え、川崎の魅力や地域資源を更に多くの市民に知ってもらい、市民の「川崎への愛着・誇り」を醸成する必要がある。						
事業の見直し・改善内容			☐ 実施 (直近) 年度 ☐ 今後実施(年度から)						
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載									
評価項目								評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか							a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由		高津の魅力や歴史をネタに盛り込んだお笑いライブを開催は、地域の魅力発信において有効である。						
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか							a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由		屋外イベントでライブを実施したことで、流動的ではあるが多くの観客の目に入った。						
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。							a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由		提案団体等と協議を行い、役割分担の見直し等による改善を進めていく。						

改善（Action）			
今後の事業の 方向性	方向性区分	方向性	実施結果（Do）や評価（Check）を踏まえた今後の方向性
	I．現状のまま継続 II．見直し・改善のうえ継続 III．事業終了	II	本事業は市民提案型協働事業であるため市民団体からの提案を受けて実施するものであるが、令和7年度も提案があり、採択されたため、引き続き実施する。 継続実施をしていくことにより、シビックプライドの醸成と区内外への地域魅力の発信に寄与する。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小	高津区市民提案型協働事業 「高津区次世代キッズアカデミー ～起業家育成への入門編～」			
58	05	25	26	40	05				
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		まちづくり推進部企画課		山森	64122	

事業の概要									
事業の概要		高津区市民提案型協働事業「高津区次世代キッズアカデミー ～起業家育成への入門編～」を実施する。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域課題対応その他事業費		
		令和6年度		—					
地域の課題と現状		現在、国内での教育機会として、アントレプレナーシップに触れる機会がほとんどない状況であることから、子供たちに地域の多様性と産業の現実を身近に感じさせ、地域への愛着と理解を深めていく必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費					184	179		
	財源内訳	国庫支出金							
	市債								
	その他特財								
	一般財源					184	179		

計画 (Plan)	
事業の目的	子どもたちに地域の多様性と産業の現実を身近に感じさせ、地域への愛着と理解を深めていくことを目的としている。
今年度の事業の取組内容	入門編としての講座を実施する。

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	高津区次世代キッズアカデミーとして、保護者説明会及び2日間（7月29日・8月5日）に渡る講座を開催した。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	活動指標	高津区次世代キッズアカデミーの開催	目標			2		回	
				実績			2			
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
				実績						

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		起業家教育や地域経済に関する学習や体験は、今後の時代にますます重要とされる内容である。		
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近) 年度 ☒ 今後実施(7年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		小学校3～6年生と幅広く募集したため、多数の応募があったが、それぞれ知識や理解度に幅があり、講座の内容や説明の仕方を変えるなどの工夫が必要と感じた。		
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	アントレプレナーシップ教育や地域への愛着と理解については、ますます重要性が増している。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	初年度ではあるが、他に類を見ない事業のため、一定の成果が上がっている。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	提案事業の最大採択年数終了後を見据え、今後の団体の自立等を考え、役割分担を検討する必要はある。		

改善（Action）			
今後の事業の 方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	Ⅰ. 現状のまま継続 Ⅱ. 見直し・改善のうえ継続 Ⅲ. 事業終了	Ⅱ	応募者数が多数となった。子どもからも楽しかったなどの意見が多く、保護者からは学校ではなかなか学べない内容であることなど肯定的な意見が多数を占めた。地域や経済に関する体験を通じて、高津区にとって未来ある人材を輩出することが期待され、次年度以降も本年度をベースに改善していく必要がある。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
58	05	25	26	40	10	高津区地域課題対応事業管理運営事業		
担 当			所 属 コー ド		所 属 名		担 当 者	連 絡 先
			671650		まちづくり推進部企画課		鈴木	64121

事業の概要										
事業の概要		高津区地域課題対応事業の効率的・効果的な推進を支えるため、必要となる事務・管理運営を行う。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域課題対応その他事業		
		—		—						
地域の課題と現状		高津区内地域課題対応事業全体における管理運営上の課題を的確に見つけ出し、速やかに執行する必要がある。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	1286	338	988	265	883	289			
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財					50	0		
		一般財源	1286	338	988	265	833	289		

計画 (Plan)	
事業の目的	高津区地域課題対応事業全体の適正かつ円滑な執行を図るため、その管理運営上必要となる事務・管理運営を行う。
今年度の事業の取組内容	地域課題解決に向けて必要な職員の知識の習得や能力向上、また、地域コミュニティ施策の推進に向けた職員の意識啓発等に向けた取組を行う。

実施結果（Do）									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	高津区コミュニティ施策研修「高津区SDCの取組について」(eラーニング)を高津区役所職員向けに実施し、地域コミュニティ施策の推進に向けた知識の習得や能力向上、職員の意識啓発を行った。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1				目標				
					実績				
	2				目標				
					実績				
	3				目標				
					実績				
	4				目標				
					実績				

評価（Check）

事業を取り巻く社会環境の変化	今後「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、市民創発により多様なつながりや居場所（まちのひろば）が創出されているまちを実現するにあたり、コミュニティ施策はますます重要になってくると考えられる。					
事業の見直し・改善内容	☐ 実施（直近）	年度	☐ 今後実施（	年度から）		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載						
評価項目						
評価						
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか				a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	社会環境の変化により地域課題も絶えず変化することから、引き続きニーズがある。				
有効性	活動結果（活動指標等）に対し事業の成果（成果指標等）は順調に上がっているか				a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	啓発活動により、区役所職員の間で一定以上の理解が図られた。				
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。				a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	区内の課題を随時調査し、状況に応じた管理運営を行うことで、改善を行う。				

改善（Action）			
今後の事業の 方向性	方向性区分	方向性	実施結果（Do）や評価（Check）を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	高津区地域課題対応事業全体における現状の課題を解決する一方で、今後も各課との調整を密に行い、適宜適切な事務・管理運営を行う。

令和6年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称		
款	項	目	大	中	小			
58	05	25	26	40	20	高津区区民生活に関わるニーズ調査事業費		
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先
			671650		まちづくり推進部企画課		齊藤	64121

事業の概要

事業の概要		アンケート調査により、次期実行計画の策定の基礎資料とするとともに、次年度の予算編成における高付加価値事業への重点配分や事業を効果的に行うための執行手法の見直しなどを行う。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業	地域課題対応その他事業費			
		平成18年度		—						
地域の課題と現状		地域が抱える課題については、多様化・複雑化が進んでいる状況にあり、こうした状況に対応するため、区民が日々の暮らしの中で感じる課題やニーズを把握し、より効果的・効率的に区役所の事業を実施することにより、地域の課題解決を図っていく必要がある。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費						2,046	1,782		
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
		一般財源					2,046	1,782		

計画 (Plan)	
事業の目的	高津区の次年度以降の事業計画等において、区民ニーズ、必要性及び緊急性が高い課題等に対応する事業を効果的・重点的に実施することを目的とする。
今年度の事業の取組内容	主に次のような内容を調査項目として調査を実施する。 (1) 区民がどのような施策・事業を行ってもらいたいと考えているか。 (2) どのような手法でニーズを達成してもらいたいと考えているか。 (3) 高津区地域課題対応事業の認知度

実施結果（Do）										
上記取組内容に対する達成度	4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	区が執行する事業について、区民ニーズを的確に把握し、効率的、効果的に執行するため、「区民がどのような施策・事業を実施してほしいと思っているのか」、「高津区で実施している施策・事業がどの程度認知・評価されているのか」などについて、高津区民2,000人を対象としたアンケート調査を実施した。									
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指 標			R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	成果指標	回収率	目標			50		%	
				実績			35			
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
				実績						

評価 (Check)

事業を取り巻く社会環境の変化		地域の課題が多様化・複雑化する中で、事業を効率的・効果的に執行していく必要がある。				
事業の見直し・改善内容		☐ 実施 (直近)		年度	☐ 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載						

評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか		a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域の課題が多様化・複雑化する中で、区民ニーズを的確に把握するために必要である。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか		a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区民ニーズを的確に把握し、各事業を効率的・効果的に執行するための判断材料となる情報を数値化することができた。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。		a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	回収率について、目標を達成できなかったため、調査方法や仕様の見直しも検討する。		

改善（Action）			
今後の事業の 方向性	方向性区分	方向性	実施結果（Do）や評価（Check）を踏まえた今後の方向性
	I．現状のまま継続 II．見直し・改善のうえ継続 III．事業終了	II	区民のニーズを把握し、事業を効率的・効果的に実施していくためには、区民に対するアンケートの実施は有効な手段の一つであるため、引き続き、社会情勢を踏まえた調査方法の検討や、報告書のページ数を見直す等しながら、区民に対するアンケート調査を実施する（次回は令和10年度に実施予定）。